



宇治市 音楽連盟だより

第113号

令和3年6月1日
発行 宇治市音楽連盟
会長 中西 秀樹
宇治市広野町小根尾 138-16

宇治市音楽連盟 検索

コロナに負けない音楽文化

宇治市音楽連盟会長 中西 秀樹



新型コロナウイルス感染の拡大が始まってもう1年以上になる現在、未だ全く収束の見通しが立たない状況が続いています。4月25日からは3度目の緊急事態宣言が出され、飲食店だけでなく大型商業施設にも休業要請が出されました。そんな中、私たち音楽関係者・愛好者の多くが日頃利用している公的施設などの練習や発表の場もほとんどすべて閉じられています。この状況を私たちは昨年からもう何度も経験してきました。

昨年の休止期間の時は、こんな期間が何ヶ月も続いたらせっかく長い時間をかけて積み上げてきた技術がだめになってしまう、と焦ったものでした。しかし実際今となつては実はそれほど力は衰えなかったと実感しています。これは個人や団体によっては必ずしも当てはまらないかもしれませんが。

それほど衰えなかったと感じた理由は何でしょうか？このような状況でも各自が個人練習など自己鍛錬を怠らなかった、ZoomやLINEなどのツールをうまく使ってのオンライン練習など工夫をした等、他にも理由はあるでしょう。しかしなんといつても音楽活動に対する関係者の皆さんの熱く強い気持ちがあるからだとは信じています。辞めてしまったらそれまでです。

昨年の音連ミュージックフェスティバルは加盟団体の半数程度の参加による開催となり、また、例年多くの合唱団体が参加している、やましろ合唱フェスティバルも開催できませんでした。このように発表の機会が制限される中、宇治市主催による「動画配信事業」が実施されました。これは、市内で文化・芸術活動を行っている方から募集した動画作品や宇治市文化センター大ホールの舞台を使い無観客で行った演奏等を収録した動画作品をYouTubeにアップするというものです。「宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル」にすでにアップされています。今年度は同様の事業をさらにパワーアップして実施されると伺っていますので大いに期待したいと思います。また、近隣他市では音楽祭を無観客で実施しライブ配信を行う予定もあるようです。

まだまだ音楽活動が困難な時期は続きそうですが、関係者の皆さんの知恵と工夫を集め乗り越えていきたいと思っています。



【画像 / 宇治市文化芸術活動おうえんチャンネルより】



第35回

音連ミュージックフェスティバル2021

10月17日(日) 午後開催予定 宇治市文化センター大ホール